

東京乗馬倶楽部マナー集



2021年 秋冬発行

騎乗時の注意事項

※赤文字が今回の変更部分になります。

1、安全に騎乗する為に

- ・ 馬はとても繊細な動物です、優しく愛情を持って接しましょう
- ・ 馬場及び厩舎エリアでは常にインストラクターの指示に従ってください
- ・ 騎乗したら馬装をもう一度点検しましょう
- ・ 安全ベストの着用、エアプロテクターの場合は鞍との接続を確認しましょう
- ・ 馬は「いつ」「何に」驚くか分かりませんので常に注意を払いましょう
- ・ 騎乗前、騎乗後は馬の後ろに行かないようにしましょう

2、馬場内での騎乗ルールを守りましょう

- ・ 馬と馬が対面した場合は左側によけましょう
- ・ 常歩のときは、課目練習中を除き他馬に蹄跡を開けましょう

3、騎乗者が注意していただきたい事

- ・ 拍車、鞭、折り返し等補助具の使用はインストラクターの指示に従ってください
- ・ 下馬するときに必ず愛撫をし、常に馬の身になった乗馬を心がけましょう
- ・ 騎乗時には健康状態に留意し、特に夏場の高温多湿時には水分補給をしましょう

4、各個乗りの時に守って頂きたい事（自馬／会有馬）

(ア) 運動項目で留意する事

- ・ まず常歩から始め、いきなり速歩、駈歩は絶対やめましょう
- ・ 速歩、駈歩では手前を時々変え、適宜常歩を入れましょう
- ・ 混雑時の伸長速歩/伸長駈歩はやめましょう

(イ) 馬場内でのマナー

- ・ 上級者は初心者優先させましょう
- ・ レッソンの騎乗者に最大限配慮し、他馬が驚かないように、対面、すれ違い、背後から駈歩で追いつく場合など十分な距離を取るようにしましょう
- ・ 騎乗中に意味なく止まったり、長時間止まったりして、他の騎乗者を邪魔しないようにしましょう
- ・ 騎乗終了五分前になったら、手綱を緩め、常歩で馬場をゆっくり回りましょう

5、その他

- ・ 馬場内の混雑時には、騎乗場所を制限することがありますのでご協力ください
- ・ お手入れ等で馬に近づくときは、必ずヘルメットをかぶりましょう

乗馬の服装について

- 乗馬用ヘルメット

落馬など、万が一の事故に備えて頭部の保護のために、必ず着用してください。また、顎紐（3点式チンガード）

を調節し、弛み無く締めましょう。ヘルメットの上または下に

サンバイザーやキャップを被ることは安全面からお勧めできません。



- ボディープロテクター

消費者庁通達に従い着用しましょう。

- 靴下

足を保護するため、くるぶしが隠れる

長さの靴下を着用してください。



- グローブ

手綱を持つ手が滑る、擦れるなどないように、またケガの防止のためにもグローブを着用してください。

・シャツ

倶楽部では、襟付き、袖付きシャツを着用し騎乗することを義務づけています。

安全面から、怪我や破傷風予防のため肌の露出は極力少なくし、原則としてシャツの裾は入れましょう。

また危険防止のため、首元にタオルやマフラーを巻いたり、フード付きパーカーなどの着用は避けましょう。



・キュロット

動きやすく伸縮性のある、乗馬専用のズボン（キュロット）を着用してください。ジーンズや作業着、スウェットパンツやラフなズボン、スカートやハーフパンツでは騎乗できません。

・乗馬用ブーツ

脛脚を保護する長靴とし、鎧を安全に踏むために平らな靴底が理想です。

ブーツの内側は、馬のおなかと接触するのでジッパーが付いていないもの、特にチャップスは鎧に引っかかりやすく事故につながりやすいため当倶楽部では原則禁止です。ウエスタン乗馬用ブーツでは騎乗できません。



*その他、インストラクターが安全騎乗に必要と判断した場合、個別に指示を出させて頂くことがありますのでご協力をよろしくお願いいたします。

馬場の周りでの注意点

～ 馬場周り ～

- 馬はとても敏感な動物です。物音や見慣れないものに対して驚くことがあります。
- 馬場内に馬がいる時には、「大きな手荷物」や「キャスター付きのカート類」の持ち運びをご遠慮ください。その他「レジ袋など」の持ち歩きにも注意してください。また雨天時、晴天時の「雨傘、日傘」の使用はご遠慮ください。
- 馬場の周りを通行する時は、静かに歩くことを心がけ「絶対に走らない」ようにしましょう。馬場内の馬に配慮し、「大声を出したり、大きな身振りで歩いたりしない」でください。厩舎エリアでのハイヒール、サンダルは安全面からご遠慮ください。
- 馬場柵に寄りかかったり、馬場内に身を乗り出したりしないようにしましょう。また、馬場柵を乗り越えたり、くぐったりして馬場内に立ち入らないでください。
- 施設内では必ず犬に適切な長さのリードをつけ、犬の糞尿はご自分で始末してください。
- 馬場内で馬が運動している時は、馬場柵の周囲での見学はご遠慮ください。

～ 写真・ビデオ撮影等 ～

- 馬場柵の周囲で写真、ビデオ撮影（三脚使用しての撮影含む）をする場合は、必ず実施前に事務局に申し出て、許可を取った上で撮影してください。
- 東京乗馬倶楽部では、倶楽部内で撮影した画像、映像のSNS等への投稿は個人情報保護の観点から禁止となりました。皆様のご協力をお願いいたします。

～ 駐車場 ～

- 駐車場では「馬が近くにいないか確かめて」から、ドアやトランクの開閉・発進をするようにしてください。
- 駐車場馬場側に車を停める時は「前向き（馬場方向）」で停めてください。
- 倶楽部ハウスの真横スペースは車両切り返し用の為、駐車しないようお願いいたします。
- 倶楽部から道路に出るときは後退で出ないようにしてください。また止むを得ず後退で出る場合は、歩行者に細心の注意を払ってください。

馬場の出入り口での注意点

- 乗り降りの際には、馬と騎乗者が平静であることが大切です。
- 他の騎乗者が乗り降りをしている最中は、お静かにお願いします。
大きな声での会話や、用具類の取り扱いには十分注意してください。
特に「鞭」は慎重に取り扱いましょう。鞭で音を立てる、振り回す事などのないよう注意しましょう。
- 馬の後ろには近づかないでください。（蹴られる恐れがあります）
- 乗り降りの最中は馬が動いてしまうと、人馬ともにバランスを崩し大変危険です。
基本的には、乗降中の馬の側には近づかないでください。
- 馬場に入る際には、一時停止し左右に十分注意してから入りましょう。

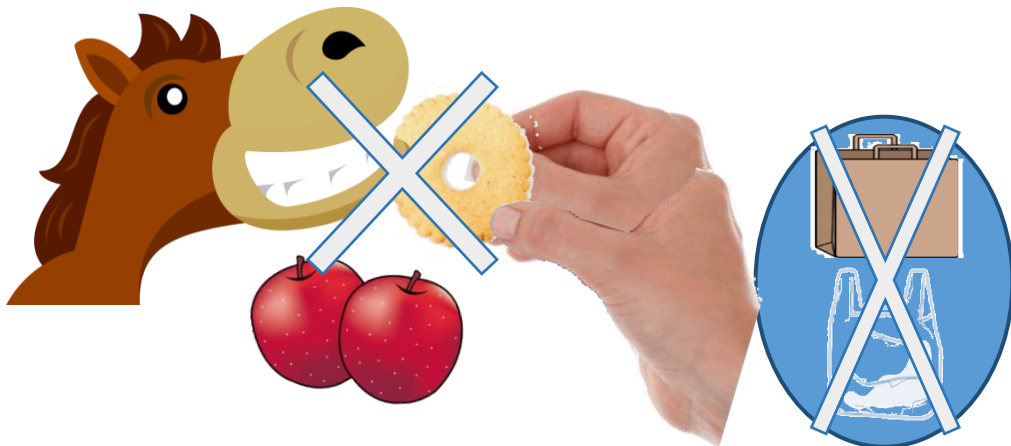
馬におやつを与える時の注意点：**会有馬**

個人的におやつを与えることは禁止されています。

倶楽部で用意されている人参をあげてください。（騎乗後、**馬房でのみ**）

馬のおやつをあげるときは、インストラクターの指示に従ってください。

馬に人参やリンゴ、馬用ビスケットなどの馬のおやつをあげることは、皆様にとっても馬にとっても楽しみなことだと思います。人参やリンゴは馬たちの食欲をそそり、それ自体はとても良いエサなのですが、馬の性質や行動、**健康**を理解したうえで与え方を考えることが非常に重要です。



- 馬たちにおやつをむやみにあげることは、前掻き等の悪い癖を覚えさせることにもつながりますので必ずルールをお守り下さい。
- 倶楽部が用意したおやつ（人参2切れ）を与える際も、他の馬の目に入る場所（洗い場等）ではあげないでください。馬が馬房に戻ってからあげましょう。
- 馬に慣れていない人は手から直接おやつをあげることはせず、飼葉桶（取手で引き出すもの）の中に入れてあげるのも一つの方法です。